

令和 6 年度 学校評価書 (計画段階)

福岡県立 大川樟風 高等学校

67

<p>スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)</p>	<p>一人一人の志に根ざした学びを通して、人や地域とつながり、未来を自ら創造できる力を育成する夜間定時制高校 多様なニーズに応じたきめ細かな学習支援や、地域と連携したキャリア教育を通して、自らの未来を描き実現できる力を伸ばし、地域社会に貢献できる人材を育成します。</p>	
<p>スクール・ポリシー (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に 関する方針)</p>	<p>(1) 基本的な生活習慣を確立し、基礎学力の向上を図ることで、将来を切り拓く力を育成します。 (2) 教育活動全体を通して、自己の役割を認識し、自他を尊重する態度を育成します。 (3) 課題解決に向けて前向きに挑戦し、主体的に取り組む力を育成します。 (4) 地域を大切に、地域に貢献できる能力や態度を育成します。</p>
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に 関する方針)</p>	<p>(1) 少人数によるきめ細かな指導により、一人ひとりを尊重した学習指導を行います。 (2) 「生活体験発表会」を柱に、自己理解を深め、「なりたい自分」像を明確にするキャリア教育を展開します。 (3) 多様な学校行事をとおして、自尊感情を高め、他者と協働して課題解決を図る力を育成します。 (4) 教育活動全般をとおし、自ら課題を発見し解決していくための資質・能力を育成します。</p>
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに 関する方針)</p>	<p>(1) 自己実現に向けた意欲を持ち、卒業に向けた強い意志を持った生徒を募集します。 (2) 学校生活を大切に、仕事と学業の両立に意欲的に取り組もうとする生徒を募集します。 (3) お互いの立場を理解し、認め合うことの大切さを認識し、共に生きようとする事ができる生徒を募集します。 (4) ルールやマナーを尊重し、主体的に学習や学校行事に取り組むことができる生徒を募集します。</p>

学校運営計画(4月)

学校運営方針		評価 (総合)		
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標		
<p>[成果] ・生徒の学校での居場所作りの環境整備。 ・学校行事を通じた自己肯定感の育成。 ・進路実現に向けた資格取得。 ・ICTを活用した授業の推進。 ・ICTを活用した授業の推進。 [課題] ・ICTの活用を含めた「わかる授業」の推進。 ・授業評価(3観点による評価)の改善。 ・将来を見据えたキャリア教育の充実。 ・定時制教育の特徴について情報発信。</p>	1. 魅力ある定時制づくり	きめ細かな学習指導や生徒指導等を通して地域社会に貢献できる人材育成を目指す。		
	2. 観点別評価の改善・充実	観点別評価の適切な評価と生徒の基礎学力向上を目指す。		
	3. ICT教育の推進・充実	ICTを積極的に活用した「わかる授業」の展開と生徒の学習意欲向上を図る。		
	4. 安全・安心な教育活動を通じた自分磨き	安全・安心な環境づくりと学校行事等を通して生徒の自己肯定感を向上させる。		
	5. キャリア教育のさらなる充実	生徒の将来を見据えたキャリア教育の体系化を進めるとともに生徒の進路意識向上を図る。		
	6. 積極的な広報活動	中学校へ出向き、定時制の特徴をアピールするなど広報活動の充実を図る		
評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等
教 務	出校率、出席率の向上に努め、遅刻者数を減らす。さらに、中途退学者の減少を目指す。	不登校生徒の入学が増加していることに鑑み、担任を中心に家庭との関係を強化して、出校率の向上(欠席数の減少)を目指す。 授業への出席率の達成目標を、全学年平均で90%とする。「中途退学者数を2人未満」「皆勤賞・精勤賞を5名以上」の実現を目指す。 担任を中心に、SC、SSWとも連携し、生徒の置かれている状況を把握して中途退学を防ぎ、よりよい学校生活を送ることができるようにする。	・学校生活アンケート 「学校生活に関する項目」 ・授業アンケート 「授業の満足度に関する項目」 ・「出席状況に関する教務データ」	
	学習指導要領に基づき学習活動の充実に努め、基礎学力の定着を図るとともに個々の生徒の特性に応じた学力の向上を目指す。また、全日制との共用教室に戻ったことに伴う影響を検証し、より良い学習環境の実現に努める。	各教科担当が基礎学力の充実に重点を置いた指導を行うとともに、総合的な探究の時間等を利用して、主体的で深い学びを実現する。 「生徒の基礎学力定着に向けた指導の改善・充実に係る取り組み」での得点率の向上を図る。また、漢字検定、情報・商業関連の検定などの合格者を増やす。 全日制1学年と定時制との共用教室に戻った影響についての検証を行い、その中での学習環境の整備に取り組む。	・学校生活アンケート 「授業に関する項目」 ・授業アンケート 「授業の満足度に関する項目」 ・「学習状況に関する教務収集データ」	
生徒指導	生徒同士が共に学び支え合う関係づくりに努め、安心で安全な環境をつくる。	登校時や給食時を利用して、積極的に挨拶や声掛けを行う。 安心安全でいじめのない学校づくりに向けた話し合いや点検を行う。 講師招聘や情報収集等、関係機関と連携・協力を努める。	「いじめアンケート」 「学校生活アンケート」、 「いじめ早期発見家庭用チェックリスト」	
	学校行事を充実させる。部活動の活性化を図る。	生徒会・委員会活動を充実させ、学校行事に主体的に参加させる。 時間や場所、時期等に関しては全日制等との調整を確実に行う。 部活動紹介や加入の呼びかけを行い、意欲的に参加するよう促す。	「いじめアンケート」、 「学校生活アンケート」、 「いじめ早期発見家庭用チェックリスト」	

様式3

進路指導	卒業予定者全員の進路決定を達成する。	相談週間を利用した希望進路の把握に努める。 ICT機器を積極的に活用し、求人情報を早期に提案する。 ハローワークと連携し、面談や支援を強化し進路実現100%を達成する。	進路希望調査 進路アンケート アルバイト調査	
	HRや総合探究の時間を活用したキャリア教育の充実を図る。	生徒の希望校種に沿った進路ガイダンスを実施する。 卒業生に依頼し、身近な存在からの講演を実施する。 進路講演会の意義や実施日時の早期連絡で参加率100%を目指す。	進路希望調査 進路アンケート アルバイト調査	
保 健	健康で安全な学校生活を送るために、保健指導の徹底を図る。	保健だよりの発行、全体の場での保健指導等で保健情報を提供する。 専門の講師による健康教室を計画・実施し、より深い学びの機会とする。 たばこ・アルコールの害については繰り返し指導に努める。	健康教室学習のまとめ	
	食育の充実を図り、喫食率の向上に努める。	食に関する講演会を計画・実施し、食の興味や大切さを意識づける。 給食委員会にて、設備状況、生徒の喫食率・嗜好などの情報共有を行う。 給食アンケートを学期に一度実施し、問題把握に努める。	給食アンケート	
研 修	指導力向上のための職員自己研鑽の充実を努める。	全・定合同の職員研修会の実施に向けて全日研修部と内容の検討、日程の調整を図る。 できるだけ早い時期に研修内容、講師を検討する。(全定合同職員研修年6回・人権同和特設年3回・いじめ対策防止委員会)	・授業アンケート ・授業参観シート	
	生徒の学習意欲の向上を図る授業の工夫に取り組む。	定時制職員研修会の更なる充実を図る。 1学期に授業アンケートを実施し、自らの授業を振り返り、授業づくりの参考とする。		
図 書	活字や映像、音声などすべての面から図書に親しむ。	「読書の日」等をきっかけにいろいろな書物を紹介する。 図書室の利用率を50%以上実現する。 図書の貸し出し数について年間10冊を目指す。	・読書アンケート	
	自分の考えや思いを、言葉で表現できるようにする。	各分掌や教科、HR担任と連携し、芸術教室での創作活動や生活体験発表会等を通して、作文力、自己表現力をつける。 校内生活体験発表大会に向け、1人800字程度の作文を書く。	・校内生活体験発表会	
情報化推進	情報機器を活用する環境整備を行う。	新規導入された、定時制用タブレットの積極的な活用を促す。 電子黒板やパソコン室の活用を職員に呼び掛ける。 研修部と連携をとりながら、ICT教育に関する研修会を実施する。	・ICT活用授業アンケート	
	「樟風講座パソコン教室」等を通して地域住民の方にPR活動を行う。	学校開放講座に関して、全職員・生徒と協力する。 ウェブページの作成更新は全日制職員と協力していく。 ウェブページ更新を年間20回以上行い、定時制入学希望に繋がるPR活動を行う。	・講座受講者アンケート ・ボランティア生徒アンケート	
人権・同和教育	特設授業では学習プリント等を活用し、生徒が積極的に参加できるよう工夫する。	年3回、人権教育教材集「あおぞら」と「かがやき」を活用した人権教育特設授業を実施する。 特設授業では学習プリント等を活用し、生徒が積極的に参加できるよう工夫する。 挨拶や声かけを通して講師と生徒のコミュニケーションづくりに努める。	「いじめアンケート」 「学校生活アンケート」	
	いじめの未然防止に努める。	気になる生徒の情報を早期に全職員と共有し、いじめや差別のない学校をつくる。 「いじめアンケート」や「学校生活アンケート」から生徒の実態把握に努める。 定期に担任や生徒指導主事との会議を設け、情報の共有を図り、いじめの未然防止に努める。	「いじめアンケート」 「学校生活アンケート」	
学年	(1年)基礎学力の定着と定時制生徒としての自覚を促す。	日々の授業を前向きに受けさせ、わかる楽しさを感じさせる。 学校行事等に積極的に参加させ、所属意識の向上を図る。 就労の機会を持たせ、社会性を身に付ける大切さを気付かせる。	「いじめアンケート」 「学校生活アンケート」	
	(2年)生活習慣の安定と基礎学力の定着。アルバイトや資格取得の奨励	学びのトレーニングの継続と基礎学力の定着を図る。 資格取得の意義を理解させ積極的な挑戦を促す。 アルバイトを奨励し、生活のリズムを習慣づける。	アルバイト調査(5月10月) 取得希望の資格アンケート	
	(3年)基本的な生活習慣を確立させる。	所属職員またSCとの連携を図り、基本的な生活習慣の定着を図る。 情報を共有することで、生徒の変化にいち早く気づき、早期発見・早期対応を心掛ける。	「いじめアンケート」 「学校生活アンケート」	
	(4年)進路目標を明確化させ、個別の進路指導を実施し、全員の卒業を目指す。	卒業後の進路について目標を明確にさせ、個々に合った進路実現を目指す。 進路実現に向けて、それぞれに求められる能力の主体的な醸成を図る。 卒業に向けて出席意欲を高め、遅刻・欠席を減らし、クラスの出席率90%と全員卒業を達成する。	進路希望調査	